

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管して下さい。

東洋漢方の加味逍遙散料

(かみしょうようさんりょう)

第2類医薬品

本剤は、中国の宋時代（約1000年前）の古典「太平惠民和劑局方」に記載されている加味逍遙散に準拠して製造された煎薬用の紙パック剤です。



使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1)医師の治療を受けている人。
 - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3)胃腸の弱い人。
 - (4)高齢者。
 - (5)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - (6)次の症状のある人。：むくみ
 - (7)次の診断を受けた人。：高血圧、心臓病、腎臓病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミ オ バ チ ー	手足のだるさ、しびれ、つばり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腸 間 膜 静 脈 硬 化 症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
下痢
- 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

[効能・効果]

体質虚弱な婦人で、肩がこり、疲れやすく、精神不安などの精神神経症状、ときに便秘の傾向のある次の諸症：冷え症、虚弱体質、月経不順、月経困難、更年期障害、血の道症

〈効能又は効果に関連する注意〉

血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。

[用法・用量]

1包（1日量）を和紙袋入りそのまま、水400mLを加え、半量位まで煎じつめ、和紙袋とともに煎じかすを除き、食間に服用して下さい。

年 齢	1包(1日量)煎じ液	1日服用回数
大人(15才以上)	全 量	3回に分けて
15才未満	服用しないこと	

[成分・分量] [本品1包（1日量）22.5g中]

日本薬局方 ト ウ キ……………3.0g	日本薬局方 ボ タ ン ピ……………2.0g
日本薬局方 シ ャ ク ヤ ク……………3.0g	日本薬局方 サ ン シ……………2.0g
日本薬局方 ヒ ャ ク ジ ュ……………3.0g	日本薬局方 カ ン ソ ウ……………1.5g
日本薬局方 フ ク リ ヨ ウ……………3.0g	日本薬局方 シ ョ ウ キ ヨ ウ……………1.0g
日本薬局方 サ イ コ……………3.0g	日本薬局方 ハ ッ カ……………1.0g

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れ替えないこと。
- (4)煎じ薬は腐敗しやすいので、冷蔵所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用すること。



[問い合わせ先]

本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」

電話 0721-23-4193

受付時間 10:00～17:00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度の問合せ先
（独）医薬品医療機器総合機構
電 話 0120-149-931